

テーマは「未来を見据えたマンション管理」 全国の専門家が高松に集結し研修会実施

全国マンション管理士会連合会

(二社) 日本マンション管理士会連合会(日管連)が主催、(二社) 香川県マンション管理士会の運営により、『全国マンション管理士合同研修会 in 高松大会』が、サンポートのかがわ国際会議場で開催され、全国各地から多くのマンション管理士が参加し、研修と交流を深めた。大会は、国土交通省、香川県、高松市ほかが後援。



吉田会長

マンション管理士のスキルアップのため全国レベルの研修を実施、管理士の実務能力と職業倫理意識の向上を目的に2007年の連合会発足以来、毎年1回、全国持ち回りで研修会を開いており今年は18回目。

高松大会は「未来を見据えたマンション管理」をメインテーマに、「外部管理者方式に対応できるマンション管理士の育成」をサブテーマに掲げ、今後ますます重要性が高まるマンション管理のあり方について、意見を交わした。

吉田宏基会長は「今回のテーマに掲げたように、マンション管理士が管理組合の管理者となり、マンション

主催の日管連の瀬下義浩会長は「マンション管理士制度ができ23年になる。制度改正により活用が進んでいるが、社会的認知度はまだ低い。5月に国会で成立したマンション関連四法の改正があり、今後マンション管理士の役割が重要になる」と述べ、来賓の平井卓也衆議院議員は「全国に約700万戸のマンションがある。老朽化、居住者の高齢化、建て替え等の合意形成など様々な問題が山積している。その最前線で活躍しているのが管理士。皆さんが問題意識をすりあわせて頂くことが重要、

識をすりあわせて頂くことが重要、

研修会という大切な機会を活かして欲しい」と話した。研修会では、行
政関係者、弁護士、
管理士会関係者ら
が登壇し、マンシ
ョン政策の最新動
向、改正区分所有
法の概要、管理計
画認定制度の活用とその手続き支援
など、計8つのテーマで講演。

研修会後はJRHホテルクレメント高松で懇親会もあり、参加者同士の交流と情報交換がおこなわれた。

香川県マンション管理士会は、高松市木太町のアート不動産(株)内に設置。マンション管理計画認定制度、



マンション管理適正化診断サービスのほか、毎月第2火曜日に高松市役所1階市民ホールで無料相談会を実施している。